

**Flowstone Teacher Initiative（フロウストーン教師構想）**  
— 英語教育に携わる教師の長期的育成と発信を支援するための構想 —

Flowstone Teacher Initiative（以下、FTI）は、本研究会が推進する英語教育に携わる教師の持続的な成長・探究・発信力の育成を目的とした長期的育成プロジェクトである。“Flowstone”は、水滴が長い年月をかけて石の形をつくる鍾乳石を指し、その比喻のもとに、教師が日々の経験を積み重ねながら磨かれ、地域の教育を支える知の層を形成していく姿を象徴している。

FTIは、7年間の成長サイクルを軸に据え、令和14年度（2032年度）に開催される東海北陸英語教育学会・石川県大会での成果発表を最終目標とする。その過程で得られた知見・実践・研究成果を、地域の研修・ワークショップ・会誌等を通じて循環的に還元し、英語教育の持続的発展に寄与することを目指す。

## 1. 公募対象

- 原則として40歳未満の英語教育に携わる教員を対象とする。
- 令和14年度の東海北陸大会（石川県）を見据え、7～8名程度を県内から公募する。
- 自薦に加え、地区研究会等からの推薦枠を認める。

## 2. 研究に向けた具体的な内容

### (1) 研究費の助成

毎年度、1万円の研究助成を行い、図書購入、教材開発、調査活動等の実践研究を支援する。

### (2) 研究テーマの柔軟性

- 研究テーマは毎年変更してよい。
- 参加者のキャリア段階や校務環境に合わせ、無理のない探究を重視する。

### (3) 年度末報告（会誌「いしかわ」）

各年度末に、A4用紙1枚程度で、その年の研究内容・学び・成果を会誌「いしかわ」へ寄稿する。

### (4) メンバー間の交流

定期または不定期で、研究交流会・実践共有会・読書会など、少人数型のコミュニティ・ミーティングを実施する。

### (5) ワークショップの担当（令和9年度以降）

研究会が主催する各種研修において、メンバーがワークショップや実践共有の登壇を担うことで、地域への還元を図る。

### (6) 東海北陸大会での発表（最終目標）

令和14年度の東海北陸公立学校英語教育研究会 石川大会における研究発表または授業映像の公開を最終的な目標とする。7年間の探究の蓄積を発信することで、県内の英語教育の質的向上に寄与する。